

令和3年度から使用する中学校用教科用図書 の 答申書

教科名 道 徳

番 号	発 行 者 略 称	教 科 書 番 号
観 点	東書（東京書籍）	701、801、901
取 扱 内 容 〔 学 習 指 導 要 領 の 総 則 及 び 各 教 科 ・ 各 学 年 の 目 標 ・ 内 容 等 〕	<p>○ 生命の尊厳については、次のような学習活動を取り上げ、生命ある全てのものをかけがえのないものとして尊重し、大切にすることができるようになっている。</p> <p>第1学年～ 今までに、命の大切さやありがたさを実感したのは、どのようなときかを考える活動</p> <p>第2学年～ 生命の尊さを心に刻んで生きていくためには、どのような気持ちが必要かを考える活動</p> <p>第3学年～ 命を大切に生き抜いていくためには、どのようなことが大切かを考える活動</p> <p>○ 自然については、次のような学習活動を取り上げ、自然の美しさや偉大さ、不思議さを感じることができるようになっている。</p> <p>第1学年～ 自分たちと自然とのつながりを感じるのには、どのようなときかを考える活動</p> <p>第2学年～ 野生の生き物などを含め、自然とどのように関わっていくことが大切かを考える活動</p> <p>第3学年～ 自分が関わっていくことができる自然を守る活動には、どのようなものがあるかを考える活動</p> <p>○ 伝統と文化については、次のような学習活動を取り上げ、有形無形の美しさに国や郷土への誇り、愛情を感じることができるようになっている。</p> <p>第1学年～ 郷土に住み、郷土の一員であることを実感できるのには、どのようなときかを考える活動</p> <p>第2学年～ 郷土のために自分ができることは、どのようなことがあるかを考える活動</p> <p>第3学年～ 自分たちの郷土には、どのような伝統や文化が受け継がれているかを考える活動</p> <p>○ 情報化への対応については、次のような学習活動を取り上げ、単に情報機器の操作や活用など、その注意点を扱うのではなく、活用するのは人間であるからこそ、例えば「節度、節制」や「自主、自律、自由と責任」など関わりのある道徳的価値について考えを深めることができるようになっている。</p> <p>第1学年～ インターネットを扱い、情報を発信するときには、どのようなことに配慮する必要があるかを考える活動</p> <p>第2学年～ メッセージアプリを扱い、友達との友情を育てていくためには、どのようなことが大切かを考える活動</p> <p>第3学年～ SNSを扱い、メッセージのやりとりを通して友達との関係をよくするためには、どのようなことに配慮する必要があるかを考える活動</p>	

<p>内容の構成・排列・分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような特色が見られる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 言語活動については、各学年に、考えを深めるための話し合いの手順を示す「話し合いの手引き」や教材と向き合いながら自分の考えを書き込み話し合い活動に生かすことのできる「つぶやき欄」を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるような特色。 ・ 問題解決的な学習については、各学年に、道徳的な問題の解決に向けて話し合うことができる教材を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、問題場面における道徳的価値の意味を考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるような特色。 ・ 体験的な学習については、各学年に、役割演技による学習を示す「アクション」を配置し、実際の場面を実感を伴って理解させる体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるような特色。 <p>○内容の分量</p> <p>第1学年 総ページ数 189 ページ 390 g 第2学年 総ページ数 197 ページ 410 g 第3学年 総ページ数 197 ページ 410 g</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 各学年に、学期ごとに学習したことを振り返ることができる「自分の学びをふり返ろう」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める配慮がなされている。</p> <p>○ 各学年に、オリエンテーションで道徳科の基本的な学習の流れを示す「道徳の授業はこんな時間に」を配置し、主体的に学習に取り組むことができるような配慮がなされている。</p> <p>○ 教材の構成について、まず、視点マークや本時のテーマを示すことで導入部を充実させ、次に、教材理解を補助するための前文の提示、さらに、十分な話し合い活動を確保するために設問数を2つに精選するなど、一時間の授業が構造化されている。</p> <p>○ 授業で使用できる「心情円」や「ホワイトボード」等の付属用紙を充実させ、話し合い活動において、物事を広い視野から多面的・多角的に考えることができるよう教材の配慮がされている。</p> <p>○ 全ての生徒が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインに配慮するとともに、1人1台端末を活用した学習として、「Dマーク」(QRコード)を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	<p>※中学校用教科書目録(令和3年度使用 文部科学省)による</p> <p>○学習用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>

令和3年度から使用する中学校用教科用図書の答申書

教科名 道 徳

番号	発 行 者 略 称	教 科 書 番 号
観 点	教出（教育出版）	702、802、902
取 扱 内 容 〔 学 習 指 導 要 領 の 総 則 及 び 各 学 年 の 目 標 ・ 内 容 等 〕	<ul style="list-style-type: none">○ 生命の尊厳については、次のような学習活動を取り上げ、生命ある全てのものをかけがえのないものとして尊重し、大切にすることができるようになっている。 第1学年～ 人は、何のためにこの世に生まれ、何のために今を生きているのかを考える活動 第2学年～ 命のある限り精一杯生きることとは、どのように生きることかを考える活動 第3学年～ 命の重さと向き合っていくためには、どのようなことが大切かを考える活動 ○ 自然については、次のような学習活動を取り上げ、自然の美しさや偉大さ、不思議さを感じる ことができるようになっている。 第1学年～ 身近な自然を守るために、自分にはどのようなことができるかを考える活動 第2学年～ 自然環境の保護のために、自分にはどのようなことができるかを考える活動 第3学年～ 人間が生活していくことと、自然を守ることに、どのような関わりがあるかを 考える活動 ○ 伝統と文化については、次のような学習活動を取り上げ、有形無形の美しさに国や郷土への誇 り、愛情を感じるできるようになっている。 第1学年～ 地域に昔からある伝統や文化を守っていくことは、なぜ大切なのかを考える活動 第2学年～ 伝統の継承や新しい文化の創造のためには、どのようなことが必要かを考える活 動 第3学年～ 日本の伝統や文化で受け継いでいきたいもの、世界に発信したいものには、どの ようなものがあるか考える活動 ○ 情報化への対応については、次のような学習活動を取り上げ、単に情報機器の操作や活用など、 その注意点を扱うのではなく、活用するのは人間であるからこそ、例えば「節度、節制」や「自 主、自律、自由と責任」など関わりのある道徳的価値について考えを深めることができるよう になっている。 第1学年～ インターネットを扱い、ルールやマナーは、自分たちの生活になぜ必要なのかを 考える活動 第2学年～ SNSを扱い、よりよく利用していくことで、得られることは何かを考える活動 第3学年～ スマートフォンや携帯電話を扱い、よりよく利用していくためには、どのような ことが大切か考える活動	

<p>内容の構成・排列・分量等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列については、次のような特徴が見られる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 言語活動については、学習の視点として、各教材において、学習指導要領で示されている四つの視点のどこに該当するかを色と絵柄で表現するとともに、冒頭に「導入」の文章を設け、学習のねらいを明確にし、見通しをもって教材内容に入ることができるような特徴。 ・ 各学年に考えを深めるための話合いの視点を示す「学びの道しるべ」を配置し、教材内容にふさわしい問いを各教材に三つ掲載することで、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるような特徴。 ・ 問題解決的な学習については、各学年に、道徳的な問題の解決に向けて話し合うことができる教材を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるような特徴。 ・ 体験的な学習については、各学年に、役割演技や日常の体験を想起して話し合う活動を示す「やってみよう」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるような特徴。 ○ 内容の分量については、次のようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> 第1学年～総ページ数は 208 ページ 390 g 第2学年～総ページ数は 192 ページ 365 g 第3学年～総ページ数は 192 ページ 365 g
<p>使用上の配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年に、教材ごとに記入する「道徳の学びを記録しよう」や学期末や学年末に記入する「道徳の学びを振り返ろう」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める配慮がなされている。 ○ 各学年に、オリエンテーションで道徳科の基本的な学習の流れを示す「道徳科で学びを深めるために」を配置し、主体的に学習に取り組むことができるような配慮がなされている。 ○ 北海道の地域素材を掲載している教材数は、第1学年が2教材、第2学年が4教材、第3学年が5教材となっている。 ○ 全ての生徒が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインに配慮するとともに、1人1台端末を活用した学習として、「まなびリンク」（QRコード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ※ 中学校用教科書目録（令和3年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

令和3年度から使用する中学校用教科用図書の答申書

教科名 道徳

番号	発行者略称	教科書番号
観点	光村(光村図書)	703、803、903
取扱内容 〔 ・ 学習指導要領の総則及び各教科 各学年の目標・内容等 〕	<ul style="list-style-type: none">○ 生命の尊厳については、次のような学習活動を取り上げ、生命ある全てのものをかけがえのないものとして尊重し、大切にすることができるようになっている。 第1学年～ 身近な生き物の命を尊重するためには、どのようなことが大切かを考える活動 第2学年～ 生きていることが当たり前ではないと感じるのは、どのようなときかを考える活動 第3学年～ 生きている間に命を大切にするためには、どのような生き方をすべきかを考える活動 ○ 自然については、次のような学習活動を取り上げ、自然の美しさや偉大さ、不思議さを感じることができるようになっている。 第1学年～ 人と自然がよりよい関係を築くためには、どのような考えが必要かを考える活動 第2学年～ 美しい自然環境を守っていくためには、どのようなことが大切かを考える活動 第3学年～ 自然環境を守るために、環境破壊などの問題に、どのように取り組んでいくべきかを考える活動 ○ 伝統と文化については、次のような学習活動を取り上げ、有形無形の美しさに国や郷土への誇り、愛情を感じることができるようになっている。 第1学年～ 自分が住む郷土の伝統や文化をつくり、継承してきた先人には、どのような思いがあったかを考える活動 第2学年～ 郷土の伝統や文化を守り、発展させるためには、自分にはどのようなことができるかを考える活動 第3学年～ 郷土の伝統や文化を継承していくためには、どのようなことが大切かを考える活動 ○ 情報化への対応については、次のような学習活動を取り上げ、単に情報機器の操作や活用など、その注意点を扱うのではなく、活用するのは人間であるからこそ、例えば「節度、節制」や「自主、自律、自由と責任」など関わりのある道徳的価値について考えを深めることができるようになっている。 第1学年～ スマートフォンを扱い、立場の異なる人と関わり合うためには、どのようなことが大切かを考える活動 第2学年～ 携帯電話やスマートフォンを扱い、上手に利用していくためには、どのような心構えが必要かを考える活動 第3学年～ インターネットを扱い、情報を発信するときには、どのようなことに配慮する必要があるかを考える活動	

<p>内容の構成・排列・分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 言語活動については、各学年に、多面的・多角的な見方や考え方による話合いの視点を示す「見方を変えて」を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるように工夫されている。 ・ 問題解決的な学習については、各学年で、道徳的な問題を解決するためにどうすればよいかを考える発問を示す教材を配置し、様々な道徳上の問題や日常生活で起こり得る課題を多面的・多角的に考え、道徳的価値について自分事として捉えながら、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるように工夫されている。 ・ 体験的な学習については、各学年に、生徒が実感をもって考えを深めることができるよう道徳的行為に関する体験的な学習を示す「人と人との関係づくり」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるように工夫されている。 <p>○ 内容の分量</p> <p>※Aは「主として自分自身に関すること」 Bは「主として人との関わりに関すること」 Cは「主として集団や社会との関わりに関すること」 Dは「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」を表す。</p> <p>第1学年 総ページ数 184 ページ 340 g 第2学年 総ページ数 192 ページ 350 g 第3学年 総ページ数 192 ページ 355 g</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 各学年、一年間の全体構成を3つのシーズンに区切り、生徒の発達段階に応じた学びのテーマを設定している。</p> <p>○ 各学年、4つの「深めたいむ」を配置し、実際の場面を想定したり、実感を伴って自分事として考えさせ、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がされている。</p> <p>○ 各学年に、教材ごとに記入する「学びの記録」や1年間の学びを振り返る「道徳の学びを振り返ろう」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 各学年に、教材ごとに多面的・多角的に考えを広げたり、深めたりするための学習のめあてを示す「てびき」を配置し、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 全ての生徒が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインに配慮するとともに、1人1台端末を活用した学習として、二次元コード（QRコード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	<p>※中学校用教科書目録（令和3年度使用 文部科学省）による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>

令和3年度から使用する中学校用教科用図書 の 答申書

教科名 道 徳

番号	発 行 者 略 称	教 科 書 番 号
観 点	日文（日本文教出版）	704・705、804・805、904・905
取 扱 内 容 〔 ・ 学 習 指 導 要 領 の 目 標 ・ 内 容 等 〕	<p>○ 生命の尊厳については、次のような学習活動を取り上げ、生命ある全てのものをかけがえのないものとして尊重し、大切にすることができるようになっている。</p> <p>第1学年～ 人とつながって生きている自分とは、どのような存在であるかを考える活動 第2学年～ 自分の周りにある支え合う生命には、どのようなものがあるかを考える活動 第3学年～ 命のつながりや命をつないでいくこととは、どのようなことかを考える活動</p> <p>○ 自然については、次のような学習活動を取り上げ、自然の美しさや偉大さ、不思議さを感じるようになるようになっている。</p> <p>第1学年～ 雄大な自然に対して、今の自分には、どのようなことができるかを考える活動 第2学年～ 自然の美しさや偉大さに接したときに、どのような思いになるかを考える活動 第3学年～ 日頃から考えている人の力を超えた自然の力は、どのようなものがあるかを考える活動</p> <p>○ 伝統と文化については、次のような学習活動を取り上げ、有形無形の美しさに国や郷土への誇り、愛情を感じることができるようになっている。</p> <p>第1学年～ 自分が住んでいる地域の伝統や文化には、どのような意味があるかを考える活動 第2学年～ 郷土の伝統や文化を絶やさないために必要なことは、どのようなことかを考える活動 第3学年～ 伝統や文化を受け継ぐためには、どのようなことを大切にすればよいかを考える活動</p> <p>○ 情報化への対応については、次のような学習活動を取り上げ、単に情報機器の操作や活用など、その注意点を扱うのではなく、活用するのは人間であるからこそ、例えば「節度、節制」や「自主、自律、自由と責任」など関わりのある道徳的価値について考えを深めることができるようになっている。</p> <p>第1学年～ スマートフォンを扱い、自ら尊重したいから守ると考えるルールには、どのようなものがあるかを考える活動 第2学年～ SNSを扱い、相手にとって自分が本当の友達になるために、どのようなことが大切かを考える活動 第3学年～ インターネットを扱い、相手の気持ちを考えた行動とは、どのようなものかを考える活動</p>	

<p>内容の構成・排列・分量等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列については、次のような特色が見られる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 言語活動については、各学年の別冊に、自分や友達の考えを記入する欄を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などの育みにつながる、心の成長を記録することができるような特色。 ・ 問題解決的な学習については、道徳的な問題の解決に向けた話合いの手順を示す「学習の進め方」を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、議論する道徳を実現することに向け、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるような特色。 ・ 体験的な学習については、各学年に、道徳的行為に関する体験的な学習の流れを示した「学習の進め方」を配置し、動作化や役割演技などの体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるような特色。 ○ 内容の分量 <ul style="list-style-type: none"> 第1学年 総ページ数は別冊を含め 231 ページ 435 g 第2学年 総ページ数は別冊を含め 231 ページ 430 g 第3学年 総ページ数は別冊を含め 231 ページ 435 g
<p>使用上の配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年のテーマ（であう みつめる ひらく）を設定して、3年間の系統的・発展的な学習ができるような配慮がされている。 ○ 各学年の別冊に、毎時間の学習の記録や自分への振り返り（自己評価）を記入できるように構成されているとともに、学期末に印象に残った学習とその理由を記入する「道徳科で学んだことを振り返ってみよう」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める配慮がなされている。 ○ 各学年に、オリエンテーションで道徳科の基本的な学習の流れを示す「道徳科で学ぶこと」や「道徳科での学び方」を配置し、教材の内容を「自分にとって身近なこと」としてとらえながら主体的に学習に取り組むことができるような配慮がなされている。 ○ 多様な題材を扱った教材・コラムを複数組み合わせ、ユニットとしてまとめ、学校の年間行事などをふまえ、適切な時期に配置したり、一定期間に集中的に学べるようにして、より深く、様々な角度から考えられる配慮がされている。 ○ 全ての生徒が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインに配慮するとともに、1人1台端末を活用した学習として、インターネットへリンクする「マーク」（QRコード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ※ 中学校用教科書目録（令和3年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

令和3年度から使用する中学校用教科用図書答申書

教科名 道徳

番号	発行者略称	教科書番号
観点	学研(学研教育みらい)	706、806、906
取扱内容 〔学習指導要領の総則及び各教科・各学年の目標・内容等〕	<p>○ 生命の尊厳については、次のような学習活動を取り上げ、生命ある全てのものをかけがえのないものとして尊重し、大切にすることができるようになっている。</p> <p>第1学年～ 命の偶然性や連続性、有限性について、自分はどのようなことを感じるかを考える活動</p> <p>第2学年～ 生命の誕生に関わる話を聞いたり写真を見たりしたとき、自分はどのようなことを感じるかを考える活動</p> <p>第3学年～ 自分にとって、命を大切にすることは、どのようなことを考える活動</p> <p>○ 自然については、次のような学習活動を取り上げ、自然の美しさや偉大さ、不思議さを感じることができるようになっている。</p> <p>第1学年～ 自然環境に関わる課題に取り組んでいくために、どのようなことが大切かを考える活動</p> <p>第2学年～ 一度壊れてしまった自然環境を再生するためには、どのようなことが必要かを考える活動</p> <p>第3学年～ 環境問題を解決するために、自分たちは、どのように自然と関わればよいかを考える活動</p> <p>○ 伝統と文化については、次のような学習活動を取り上げ、有形無形の美しさに国や郷土への誇り、愛情を感じることができるようになっている。</p> <p>第1学年～ 日本人が日本の伝統や文化を継承することには、どのような意義があるかを考える活動</p> <p>第2学年～ 自分が住んでいる地域を誇りに思うときは、どのようなときかを考える活動</p> <p>第3学年～ 地域にある伝統や文化の継承に、自分はどのように関わっていくことができるかを考える活動</p> <p>○ 情報化への対応については、次のような学習活動を取り上げ、単に情報機器の操作や活用など、その注意点を扱うのではなく、活用するのは人間であるからこそ、例えば「節度、節制」や「自主、自律、自由と責任」など関わりのある道徳的価値について考えを深めることができるようになっている。</p> <p>第1学年～ スマートフォンを扱い、自分で自分の生活をコントロールするためには、どのようなことが大切かを考える活動</p> <p>第2学年～ SNSを扱い、異なる意見を尊重するためには、どのようなことが大切かを考える活動</p> <p>第3学年～ インターネットを扱い、周りの人の権利を損なわないようにするためには、どのようなことに気を付けなければならないかを考える活動</p>	

<p>内容の構成・排列・分量等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 言語活動については、各学年に、考えを深めるための話合いの視点を示す「考えよう」を配置し、書込みできるメモ欄を設けて、思いや気づきを記入できるようにするとともに、教材の特別ページ「深めよう」には、学び方の具体的な例が提示され、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるように工夫されている。 ・ 問題解決的な学習については、各学年に、道徳的な問題の解決に向けた視点を示す「見つけよう」を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるように工夫されている。 ・ 体験的な学習については、各学年に、役割演技による学習を示す「やってみよう」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるように工夫されている。 ○ 内容の分量 <ul style="list-style-type: none"> 第1学年 総ページ数 183 ページ 365 g 第2学年 総ページ数 195 ページ 385 g 第3学年 総ページ数 195 ページ 385 g
<p>使用上の配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 読み物のほか絵や写真、図やグラフ等、様々な切り口で素材を構成した教材を掲載している。 ○ 北海道に関連する教材の配置とともに、全国各地域に関連した内容を掲載している。 ○ 各学年に、自分を見つめる「マイプロフィール」や心の成長を振り返る「心の四季」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 巻末に「学びの記録」として、学期ごとの道徳の授業の振り返りができるようにしている。 ○ 各学年に、オリエンテーションで道徳科の基本的な学習の流れを示す「考えを深める四つのステップ」（見つけよう、考えよう、話し合おう、生き方につなげよう）を配置し、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての生徒が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインに配慮するとともに、1人1台端末を活用した学習として、QRコードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ※ 中学校用教科書目録（令和3年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

令和3年度から使用する中学校用教科用図書 の 答申書

教科名 道徳

番号	発行者略称	教科書番号
観点	廣あかつき(廣済堂あかつき)	707・708、807・808、907・908
取扱内容 〔 学習指導要領の総則及び各教科 ・各学年の目標・内容等 〕	<p>○ 生命の尊厳については、次のような学習活動を取り上げ、生命ある全てのものをかけがえのないものとして尊重し、大切にすることができるようになっている。</p> <p>第1学年～ この世に生まれてきたことや、今、生きていることについて、どのように感じているかを考える活動</p> <p>第2学年～ 命を大切にすることについて、立場や状況によって考えが異なる中で、生命の尊厳を守るためには、どのようなことが大切かを考える活動</p> <p>第3学年～ 人の生死に対して多様な考えがある中で、生命の尊厳を守るためには、どのようなことが大切かを考える活動</p> <p>○ 自然については、次のような学習活動を取り上げ、自然の美しさや偉大さ、不思議さを感じることができるようになっている。</p> <p>第1学年～ 社会が変化する中で、人々は、自然に関するどのような問題を見落としてきたかを考える活動</p> <p>第2学年～ 自然が持つ美しさや偉大さについて、自分はどのように感じるかを考える活動</p> <p>第3学年～ 人間の営みと自然の営みが共存していくためには、どのようなことが大切かを考える活動</p> <p>○ 伝統と文化については、次のような学習活動を取り上げ、有形無形の美しさに国や郷土への誇り、愛情を感じることができるようになっている。</p> <p>第1学年～ 郷土の特色の維持や発展のために、自分はどのようなことをしているかを考える活動</p> <p>第2学年～ 長く受け継がれてきた郷土の伝統や文化には、そこに住む人々のどのような思いが込められているのかを考える活動</p> <p>第3学年～ 郷土の発展のために、自分にできることは、どのようなことがあるかを考える活動</p> <p>○ 情報化への対応については、次のような学習活動を取り上げ、単に情報機器の操作や活用など、その注意点を扱うのではなく、活用するのは人間であるからこそ、例えば「節度、節制」や「自主、自律、自由と責任」など関わりのある道徳的価値について考えを深めることができるようになっている。</p> <p>第1学年～ インターネットを扱い、利用する際に、自主性や自律性、自由と責任を大切にしなければならないのはなぜかを考える活動</p> <p>第2学年～ SNSを扱い、情報機器に振り回されないようにするために、どのようなことを心がけるとよいかを考える活動</p> <p>第3学年～ スマートフォンを扱い、インターネットの利用に際して、どのような責任が伴うかを考える活動</p>	

<p>内容の構成・排列・分量等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列については、次のような特徴が見られる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 言語活動については、各学年の別冊に、感じたことや考えたことを記入する欄を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現するなど育むことができるように工夫されていることに加え、生徒自身が自らの成長を実感できるよう、心の成長を記録することができるような特徴。 ・ 問題解決的な学習については、各学年に、道徳的な問題の解決に向けて話し合うことができる教材が配置されている。また問題解決的な学習を促す問いを設けることで、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるような特徴。 ・ 体験的な学習については、各学年に、役割演技による学習に取り組むことができる教材を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるような特徴。 ○ 内容の分量については、次のようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> 第1学年～ 総ページ数は別冊を含め 224 ページ 495 g 第2学年～ 総ページ数は別冊を含め 208 ページ 470 g 第3学年～ 総ページ数は別冊を含め 204 ページ 460 g
<p>使用上の配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年に本冊と別冊を設け、2冊の相乗効果で豊かな自己の形成ができるような工夫がされている。 ○ 各学年の別冊に、心に残った教材やその理由を記入する「心に残っている授業の記録」や自分の今後の目標等を記入できる「心のしおり（巻末折り込み）」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標を持ったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 各学年に、教材ごとに考えを広げたり、深めたりするための学習の流れを示す「考える・話し合う」を配置し、主体的に学習に取り組み、人間としての生き方についての考えが深めることができるような工夫がなされている。 ○ 全ての生徒が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインに配慮するとともに、1人1台端末を活用した学習として、「インターネット」マーク（QRコード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
<p>その他</p>	<p>※中学校用教科書目録（令和3年度使用 文部科学省）による</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

令和3年度から使用する中学校用教科用図書の答申書

教科名 道徳

番号	発行者略称	教科書番号
観点	日科（日本教科書）	709、809、909
取扱内容 〔 学習指導要領の総則及び各教科 ・各学年の目標・内容等 〕	<ul style="list-style-type: none">○ 生命の尊厳については、次のような学習活動を取り上げ、生命ある全てのものをかけがえのないものとして尊重し、大切にすることができるようになっている。 第1学年～ 先祖からの子孫へ受け渡していく生命の連続性について、自分はどのようなことを感じるかを考える活動 第2学年～ 人が生命を尊重したり、人の命を守ったりするために行動するのはなぜかを考える活動 第3学年～ 生命に対して多様な考えがある中で、生命の尊厳を守るためには、どのようなことが大切かを考える活動 ○ 自然については、次のような学習活動を取り上げ、自然の美しさや偉大さ、不思議さを感じるようになるようになっている。 第1学年～ 人が自然環境の維持を願ったり、自然を守ったりするために行動するのはなぜかを考える活動 第2学年～ 自分にとって、地球の未来のためにできることは、どのようなことかを考える活動 第3学年～ 自分がこれまで出会った自然の美しさには、どのようなものがあるかを考える活動 ○ 伝統と文化については、次のような学習活動を取り上げ、有形無形の美しさに国や郷土への誇り、愛情を感じることができるようになっている。 第1学年～ 家族や地域の人々は、郷土に対して、どのような思いをもっているかを考える活動 第2学年～ 地域の伝統行事は、郷土の人々にとって、どのような意味があるかを考える活動 第3学年～ 身の回りにある長く受け継がれてきた日本人の技や知恵には、どのようなものがあるかを考える活動 ○ 情報化への対応については、次のような学習活動を取り上げ、単に情報機器の操作や活用など、その注意点を扱うのではなく、活用するのは人間であるからこそ、例えば「節度、節制」や「自主、自律、自由と責任」など関わりのある道徳的価値について考えを深めることができるようになっている。 第1学年～ SNSを扱い、メッセージのやりとりを通して友達との関係をよくするためには、どのような配慮が必要かを考える活動 第2学年～ インターネットを扱い、コミュニケーションを図る上で、どのような配慮が必要かを考える活動 第3学年～ スマートフォンを扱い、インターネットを介してコミュニケーションをとるときに大切なことは、どのようなことかを考える活動	

<p>内容の構成・排列・分量等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 言語活動については、各学年に、考えを深めるための話し合いの視点を示す「考え、話し合ってみよう　そして、深めよう」を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるように工夫されている。 ・ 問題解決的な学習については、答えが1つではない道徳的な問題を、自分自身の問題として捉えるように工夫されている。また、各学年に、道徳的な問題の解決に向けた視点を示す「考え、話し合ってみよう　そして、深めよう」を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるように工夫されている。 ・ 体験的な学習については、各学年に、道徳的行為に関する体験的な学習に取り組むことができる教材を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるように工夫されている。 ○ 内容の分量については、次のようになっている。 第1学年～　総ページ数は192ページ。340g 第2学年～　総ページ数は192ページ。340g 第3学年～　総ページ数は192ページ。340g
<p>使用上の配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年のテーマ（生き方から学ぶ　生き方を見つめる　生き方を創造する）を設定し、3年間で系統的・発展的な学習ができるような工夫がなされている。 ○ 各学年に、学年末に記入する「〇年生の心の成長を振り返りましょう」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 各学年に、オリエンテーションで道徳科の基本的な学習のながれを示す「道徳科って何を学ぶの？」を配置し、一人一人の生徒が自分自身の問題として捉え、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 先人・著名人の生き方から、生きる勇気や知恵などを感じることができる教材を各学年で多数掲載し、気高さだけでなく、人間の弱さや醜さを吐露する姿などを知ること、生きることの魅力や意味の深さについて考えられるように工夫されている。 ○ 全ての生徒が多面的・多角的に考えを広げたり、深めたりしながら学習することができるよう教科書の使い方を示すページを配置するなど、使用上の便宜が図られている。
<p>その他</p>	<p>※中学校用教科書目録（令和3年度使用　文部科学省）による</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。